

第4次総合計画改訂版 新規指標一覧（設定理由・実績）

- 【見直しポイント】 ①毎年度把握…毎年度の数値把握の可否
 ②成果指標…活動指標→成果指標への変更可能性
 ③目標値の妥当性
 1 達成見込 2 目標値の根拠数値変更 3 単位を変更
 4 達成困難なため補足指標を追加
 ④整合性…取組内容との整合性 ⑤文言修正

指標番号	指標	実績値		目標値	指標見直しまたは設定理由	
		策定時 (H29)	直近 (R3)		見直しポイント	詳細
111	平和祈念資料館の年間来館者数	1.3万人	3千人	9千人	⑤文言修正	現行指標「平和祈念資料館の年間利用者数」には、来館者数と貸出資料利用者数の両方が含まれており、分かりやすくするためそれぞれを分けた指標とする。目標値は現行指標時点よりも下方修正。
111	平和祈念資料館の年間貸出資料利用者数	3.7万人	2.8万人	4万人	⑤文言修正	
211	防災協定締結団体の吹田市地域防災総合訓練参加率	46.0%	39.4%	100%	④整合性	これまで協定締結数を指標としていたが、実効性の向上をめざし、関係機関との実務レベルでの連携強化をめざした指標とする。
211	吹田市職員の災害対応訓練参加率	—	(今年度実績)	100%	新規	市の災害対応の総合力向上に向け、災害対応業務と優先すべき行政サービスの適切な提供体制の構築のために、継続的な訓練が必要であるため、指標を新規に設定する。
211	発災直後から、災害対策本部立ち上げ及び情報収集開始までの時間(訓練を含む)	5時間	3時間	30分以内	新規	危機管理センター構築に伴い、災害対応体制及び情報収集体制の迅速な構築をめざし、指標を新規に設定する。
221	刑法犯の認知件数	2,843件	1,486件	前年より減少	新規	「治安の良さ・悪さ」を測る指標として設定。また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」からの指標引継。
222	消費者向けの講座等の年間受講者数	594人	173人	800人	⑤文言修正	主体的に講座を受講しない市民へのアプローチを含めたより広い視点での指標とするため、指標の文言を修正するとともに、目標値を上方修正。
321	ショートステイ利用者数	420人	388人	470人	新規	障がい者が地域で自立して生活できるよう、緊急時や支援者のレスパイトへの対応を図る必要があることから、指標として設定、また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」からの指標引継。
331	民生委員・児童委員数の充足率	96.3%	95.6%	100%	③-4補足追加	地域福祉活動において重要な役割を担う民生委員・児童委員について、条例上の定数(必要人数)を確保することは、地域福祉の推進につながるため、新規に設定。

指標番号	指標	実績値		目標値	指標見直しまたは設定理由	
		策定時 (H29)	直近 (R3)		見直しポイント	詳細
331	災害時要援護者支援に関する協定を締結した地区の割合	14.7%	32.4%	100%	④整合性	現行指標では「福祉避難所の支援を行うボランティアの人数」を挙げていたが、「災害発生時に災害時要援護者への支援が適切に行える体制づくり」の推進においては、地域支援組織(連合自治会単位の自主防災組織等)との連携体制の強化に力を入れて取り組んでいることから、新規に指標に設定。
331	就労支援事業に参加した生活保護受給者等の就労率	52.5%	44.3%	50%	③-3単位変更	生活困窮者への就労支援の成果を示す指標としてより適切となるよう、就労支援専門員が関与していない就労準備支援事業なども対象に含め、人数を割合に変えて設定。
341	生活習慣を改善するつもりはない人の割合	男性32.1% 女性23.2%	男性:28.2% 女性:20.8%	男性: 25.0%以下 女性: 17.0%以下	③-1達成済み ④整合性	無関心層も含めた全ての市民が、自身のライフスタイルにあわせて生活習慣をよくする意識を持つことをめざし、健康無関心層を減らす指標を設定。
341	受動喫煙の機会がなかった人の割合	—	34.4% (R4)	40%	新規	スモークフリーシティ(たばこの煙のないまち)の実現を目指す中で、その状態を客観的に判断できる指標として設定。
342	結核罹患率(人口10万対)	14.8	8.2	6.0	新規	保健所設置により新たな施策を設定したことに伴い、新規に指標を設定。結核は予防や治療等の個別対応、まん延防止、さらに人権への配慮など感染症の中でも公衆衛生上重要な感染症であること、社会経済的に弱い立場にある人の罹患が多く、その対策は不平等を是正するという観点もあることから、結核統計に関する代表的な罹患率を指標として設定。
343	かかりつけ医を持つ人の割合	55.3% (H28)	57% (R2)	60%	③-4補足追加	市民が健康に関することを気軽に相談でき、必要に応じて適切な医療機関を紹介してもらえる、かかりつけ医を持つことが重要であることから、指標として設定。
412	吹田市で子育てをしたいと思う親の割合	95.9%	96.7%	98%	②成果指標 ③-1達成済み	地域の子育て支援の充実に関する子育て家庭の満足度を推量する指標として設定。国の健やか親子21(第2次)(国民運動計画)の取組評価指標。
413	生後4か月までの乳児がいる家庭に対し保健師、助産師、民生委員・児童委員などが訪問や面談を行った割合	72.2%	51.8%	100%	⑤文言修正	訪問・面談を行う職種として「助産師」を追加するとともに、「訪問し面談」としていたところを「訪問や面談」に変更。また、目標値は上方修正。
413	ひとり親家庭への就業支援により就業につながった人の割合	87%	87.5%	100%	③-3単位変更	就業支援(自立支援プログラム等)の利用者数に対する成果を示すことにより、有効性をわかりやすくするため割合に変更。

指標番号	指標	実績値		目標値	指標見直しまたは設定理由	
		策定時 (H29)	直近 (R3)		見直しポイント	詳細
421	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う小・中学生の割合	小:96.1% 中:91.5%	小:96.7% 中:95.4%	100%	新規	本市としていじめ対策に力を入れて取り組んでいることから、新しく指標として設定。
431	青少年相談から社会参画につながったケース数	63件	60件	72件	③-4補足追加	青少年の相談は年々複雑化・複合化しており、相談から社会参画に繋がることは重要であることから指標として設定。
432	留守家庭児童育成室の待機児童数	0人	0人	0人	④整合性	R4.12.1時点で24人と待機児童が発生しており、ニーズに対する対応状況を表す指標に変更。
442	市民一人当たりの図書館資料(電子図書を含む)の年間貸出数	9.59点	9.59点	12点	新規	現行指標の「図書館の年間入館者数」はハード面の指標とし、様々な媒体の資料の貸出点数をソフト面の指標として新たに設定。H29は電子図書を含まない実績値。
511	市域の年間温室効果ガス排出量	1,873 千t-CO2 (H27)	1,451 千t-CO2 (R1)	1,092 千t-CO2	②成果指標	節エネルギー、省エネルギーの促進及び再生可能エネルギーの利用促進に向けた取組の成果を表す指標として設定。個別計画の達成指標と整合を取ったもの。
612	倒壊の危険がある空家等の数	122件 (H30)	46件	解消	①毎年度把握	現行指標「空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合」が5年おきの調査のため、指標を変更。良好な住環境の形成を図るため、適正に管理されていない状態で放置された空き家を減らすことが重要であることから、指標として設定。
612	長期修繕計画に基づく修繕積立をしているマンション管理組合の割合	60% (H30)	62.6%	75%	新規	「マンションの適正な維持管理への支援」を施策内容に新たに追加したことによる設定。良好な住環境の形成を図るため、マンションが管理不全に陥らないよう、30年以上の長期修繕計画に基づいた修繕工事の実施が重要であることから、指標として設定。
613	都市公園の面積	322.4ha	326.1ha	328ha	⑤文言修正	現行指標「公園など」の表現が不明瞭であり、明確化。
613	魅力向上を図る都市公園の数	—	3公園	22公園	新規	みどりの量に加え、質を測る指標として設定。
623	雨水管等整備延長	0.0km	4.1km	8.3km	③-3単位変更	置換前の指標は、「雨水排水施設の整備率(雨水排水施設が計画通り完成した割合)」としており、毎年度、雨水管等を整備しているが、整備率では取組の状況が分かりにくいことから、「雨水管等整備延長」に置換。第4次総合計画の計画期間当初を0kmとし、10年後の目標を設定。 【参考】H29年度末時点での雨水管と合流管の整備延長は約500km。

指標番号	指標	実績値		目標値	指標見直しまたは設定理由	
		策定時 (H29)	直近 (R3)		見直しポイント	詳細
711	市内の事業所数	11,526事業所 (H28)	11,654事業所	11,700事業所	①毎年度把握	現行指標「開業率と廃業率の差」は、前回調査との比較により求める値。 国の調査方法が、令和元年度に変更され、今後も調査方法が不確定であるため、前回調査と比較し、現行指標の値を把握することが不可能となっているため変更。
721	市の文化事業に出演・出展した市民の延べ人数	—	2,173人	2,400人	③ー4補足追加	第2次文化振興基本計画に文化に関する人材育成が記載されているため、指標として追加。
721	外国人等支援施策において支援した延べ人数	—	52人	100人 (差し替え予定)	新規	国の施策により市内の外国人が増加しており、支援を充実させる必要があることから、多文化共生の推進の進捗を確認するために追加。
722	「バーチャル・ミュージアム」へのアクセス数	—	0.8万件	2.9万件	③ー4補足追加	コロナ禍を受け、博物館への入館者数に加え、来館以外に在宅等においても展示室の観覧ができるバーチャル・ミュージアムの充実を図る指標として設定。
723	「社会体育リーダー協議会」の会員数及び「公認スポーツ指導員」の登録者数	1,898人	1,743人	2,100人	⑤文言修正	社会体育リーダー認定者の中には、退会された方も多く含まれているため、会員数を指標とし、合わせて市民体育館等でスポーツ教室の指導に当たる「公認スポーツ指導員」の登録者数を追加。
723	各スポーツ施設及び学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数	187万人	99.2万人	140万人	新規	スポーツ振興の活動指標として設定。新型コロナウイルス感染症による影響を考慮して、策定時の75%を目標値とする。
731	すいたフェスタへの参加者数(来場者数)	—	1.7万人 (R4年度)	2万人	②成果指標	本市の魅力の向上や発信に資する当該取組について、課題や改善点を検討するうえで、より分かりやすくその成果等を把握する必要があることから、指標として設定。
731	すいたんTwitterなどSNSフォロワー数	1.1万人	1.8万人	2.5万人	新規	「多様な手法による効果的な魅力の発信」を施策の中に位置づけ、本市の更なる魅力向上と発信に取り組むこととしたことから、指標として設定。
732	連携授業等への参加を契機に市政への参画意欲が向上した学生の割合	—	(今年度調査予定)	50%	新規	大学との連携事業において、地域の活性化推進の中心となることを期待する大学生の意識向上を図る必要があることから、指標として設定。
811	財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合	15.4%	16.4%	20%	③ー3単位変更	財政規模に応じた備えを確保できるよう、目標値を金額から割合に変更。
812	公共施設(一般建築物)の改修や建替えをした件数	—	18件	130件	③ー1達成済み	現行指標「一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合」が100%で達成したため、計画に基づく実施状況を確認するため新たな指標を設定。

指標番号	指標	実績値		目標値	指標見直しまたは設定理由	
		策定時 (H29)	直近 (R3)		見直しポイント	詳細
813	職員の実務基礎能力習熟度(テスト正答率70%以上に達した割合)	—	56%	90%	②成果指標	実務能力の向上具合を図る指標とするため設定。
813	年間の時間外勤務時間数が360時間以下の職員数の割合	—	91.8%	100.0%	新規	ワークライフバランスが確保されているかどうかを検証するための指標として設定。
814	電子化した行政手続におけるオンライン申請件数割合の前年度比伸び率	—	—	4ポイント	新規	各種の行政手続を、インターネットを用いた電子申請にて行えるように整備を進め、その申請件数の割合が、前年度と比較して4ポイントずつ、毎年度上昇することをめざす。